



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月11日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東  
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL) 04(7094)5581  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,139	1.1	171	△10.7	137	△18.1	143	△5.6
28年3月期第2四半期	2,115	10.1	192	217.9	168	469.4	152	186.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	16.08	—
28年3月期第2四半期	17.03	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	6,519	1,053	16.2	50.67
28年3月期	6,459	913	14.2	35.10

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 1,053百万円 28年3月期 913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	△0.8	200	35.5	120	20.9	90	△10.9	10.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	10,453,920株	28年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,512,748株	28年3月期	1,512,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	8,941,386株	28年3月期2Q	8,942,443株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用の改善が続く中、企業収益は堅調にあるものの、個人消費に停滞感が見られ、中国をはじめとした新興国経済の減速、英国のEU離脱問題をめぐる欧州情勢等、先行きは不透明な状況が続いております。

リゾートホテル業界におきましては、テロ等の影響から海外旅行は減少傾向にあります。国内旅行は一部地域で震災の影響が残るもの訪日外国人の増加に加え、国内への旅行需要等堅調に推移しております。

そのような状況の中で当社は、販売力の強化並びに収益力の拡大を主要課題として取組んで参りました。リゾートホテルは、夏季の最需要期において長期にわたる天候不順が続き、関東圏の事業所が苦戦を強いられました。一方、ビジネスホテルは訪日外国人や堅調な国内需要により引続き高稼働を維持しております。

その結果、当第2四半期累計期間の営業収益は2,139百万円と前年同四半期と比べ23百万円(1.1%)の増収となり、営業利益171百万円(前年同四半期比10.4%減)、経常利益137百万円(前年同四半期比18.1%減)、四半期純利益143百万円(前年同四半期比5.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ60百万円増加し、6,519百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ152百万円増加し、1,479百万円となりました。これは主に、現金及び預金が157百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ92百万円減少し、5,040百万円となりました。これは主に、建物が81百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ95百万円減少し、4,759百万円となりました。これは主に、短期借入金74百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ15百万円増加し、706百万円となりました。これは主に、その他(長期未払金)が10千円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ139百万円増加し、1,053百万円となりました。これは主に、四半期純利益143百万円の計上によるものであります。

#### ②キャッシュフローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ157百万円増加し、1,192百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は296百万円(前年同四半期に比べ18百万円の減少)となりました。これは主に、税引前四半期純利益171百万円に、減価償却費127百万円の非資金損益項目を計上したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は47百万円(前年同四半期は9百万円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産49百万円の取得による支出があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は91百万円(前年同四半期に比べ32百万円の増加)となりました。これは主に、借入金92百万円の返済による支出があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、当初公表いたしました予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,035,457	1,192,514
売掛金	174,762	170,930
たな卸資産	48,146	48,853
未収入金	5,688	3,190
その他	65,135	66,081
貸倒引当金	△2,157	△2,071
流動資産合計	1,327,033	1,479,498
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,108,012	12,098,128
減価償却累計額	△8,649,497	△8,721,189
建物(純額)	3,458,514	3,376,939
構築物	513,958	514,339
減価償却累計額	△465,882	△467,357
構築物(純額)	48,076	46,982
機械及び装置	239,246	241,862
減価償却累計額	△188,690	△190,773
機械及び装置(純額)	50,556	51,089
車両運搬具	20,754	20,754
減価償却累計額	△19,590	△19,653
車両運搬具(純額)	1,164	1,100
工具、器具及び備品	837,434	842,105
減価償却累計額	△737,908	△744,665
工具、器具及び備品(純額)	99,525	97,440
土地	1,073,906	1,073,329
リース資産	114,507	126,315
減価償却累計額	△69,677	△75,731
リース資産(純額)	44,829	50,583
有形固定資産合計	4,776,572	4,697,465
無形固定資産	48,571	45,085
投資その他の資産		
投資有価証券	101,976	95,741
差入保証金	169,805	169,805
保険積立金	718	3,221
その他	43,846	37,963
貸倒引当金	△8,861	△8,861
投資その他の資産合計	307,484	297,869
固定資産合計	5,132,629	5,040,420
資産合計	6,459,662	6,519,919

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	86,746	117,998
短期借入金	3,759,275	3,685,162
1年内返済予定の長期借入金	490,525	472,337
未払金	16,244	7,445
未払費用	234,729	233,486
未払法人税等	19,532	36,034
未払消費税等	53,434	33,949
賞与引当金	44,357	44,213
その他	149,932	128,884
流動負債合計	4,854,779	4,759,512
固定負債		
繰延税金負債	6,453	4,093
退職給付引当金	130,286	137,870
役員退職慰労引当金	25,391	24,191
長期預り保証金	487,644	484,644
その他	41,281	56,194
固定負債合計	691,057	706,994
負債合計	5,545,837	5,466,506
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△220,889	△77,128
自己株式	△4,798	△4,876
株主資本合計	899,661	1,043,344
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,164	9,688
評価・換算差額等合計	14,164	9,688
新株予約権	-	379
純資産合計	913,825	1,053,412
負債純資産合計	6,459,662	6,519,919

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業収益	2,115,745	2,139,285
営業費用	1,923,504	1,967,607
営業利益	192,241	171,677
営業外収益		
受取保険金	11,452	622
助成金収入	653	1,090
その他	8,524	6,466
営業外収益合計	20,630	8,178
営業外費用		
支払利息	44,396	41,900
その他	199	203
営業外費用合計	44,596	42,103
経常利益	168,275	137,751
特別利益		
受取補償金	10,130	36,760
特別利益合計	10,130	36,760
特別損失		
固定資産除却損	3,430	2,579
特別損失合計	3,430	2,579
税引前四半期純利益	174,975	171,932
法人税、住民税及び事業税	22,725	28,171
法人税等合計	22,725	28,171
四半期純利益	152,250	143,761

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	174,975	171,932
減価償却費	123,963	127,076
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△978	△85
賞与引当金の増減額(△は減少)	△249	△144
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,451	7,584
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	△1,200
受取利息及び受取配当金	△1,138	△1,093
支払利息	44,396	41,900
固定資産除売却損益(△は益)	3,430	2,579
売上債権の増減額(△は増加)	11,075	3,831
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,558	△707
前払費用の増減額(△は増加)	△8,849	△899
未収入金の増減額(△は増加)	4,442	2,498
仕入債務の増減額(△は減少)	36,811	31,251
未払金の増減額(△は減少)	△859	△859
未払費用の増減額(△は減少)	393	△1,128
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,682	△19,485
前受金の増減額(△は減少)	△17,151	△16,288
預り金の増減額(△は減少)	512	93
預り保証金の増減額(△は減少)	△5,690	△3,000
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△400	-
長期前払費用の増減額(△は増加)	△16,596	4,978
その他	10,238	5,901
小計	369,900	354,736
利息及び配当金の受取額	953	922
利息の支払額	△44,593	△42,323
法人税等の支払額	△10,826	△16,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	315,435	296,949
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△69,533	△49,209
固定資産の売却による収入	8,415	4,417
投資有価証券の取得による支出	△599	△599
差入保証金の回収による収入	70,918	-
その他	-	△2,502
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,200	△47,893
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△41,237	△74,112
長期借入金の返済による支出	△18,572	△18,187
自己株式の取得による支出	△75	△78
株式の発行による収入	-	379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,885	△91,998
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	264,750	157,057
現金及び現金同等物の期首残高	818,786	1,035,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,083,536	1,192,514

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期会計期間(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,704,664	343,742	2,048,407	67,338	2,115,745	—	2,115,745
セグメント利益 又は損失(△)	186,874	40,738	227,612	△2,450	225,161	△32,920	192,241

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額 △32,920千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、従来「リゾート関連」に含まれていた「アジュールーノ宮」について事業用資産から売却目的の不動産への切替に伴い、「その他」に変更しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,723,803	351,854	2,075,657	63,627	2,139,285	—	2,139,285
セグメント利益 又は損失(△)	167,717	39,353	207,070	△745	206,325	△34,647	171,677

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額 △34,647千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。